

高速道路の利用状況について (平成15年度の規格の高い道路を使う割合の達成度)

(1) 高速道路の利用状況の現状と課題

■ 年間1台約10,000kmの道路交通の中で長距離を走行する交通は20～30%

道路交通の量を表す総走行台キロ¹は1年間で約8,000億台キロ。これは、1台の自動車年間約10,000km走行していることに相当。このうち20～30%は隣町同士の往来や長距離トラックなどの一度に15km以上の長距離を走行する交通。

■ 長い距離を走行する交通は高速道路に分担させることが重要

幹線道路の渋滞、生活道路の事故、沿道の騒音等を改善するため、高速道路に長い距離を走行する交通を分担させて、生活道路と使い分けることが重要。

■ 我が国の高速道路を使う割合は13%で欧米諸国の20～30%に比べて低い

高速道路の利用状況を表す「規格の高い道路を使う割合²」は、約13%と欧米諸国の20～30%に比べて著しく低く、高速道路と生活道路の機能分担が十分でないために、渋滞、環境悪化などの社会問題を起こしている。

(2) 平成15年度の規格の高い道路を使う割合の達成度

■ 割高感のある料金設定が有料道路の利用者離れに

規格の高い道路を使う割合は、13%(H14)から13%(H15)と横這い。高速道路の走行台キロは、無料区間で約60万台キロ増加したが、有料区間で約80万台キロ減少。有料道路の弾力的な料金設定の必要性を確認。

■ 料金社会実験(弾力的な料金設定)により、交通量が大幅に増加

高速道路に並行する道路が渋滞している箇所など、全国22箇所です料金社会実験を実施。例えば常磐自動車道(日立南大田IC～日立北IC)では、1ヶ月間、料金を約半額に引き下げたところ、実験区間内の各IC間を往来する交通量が平均1.7倍に。

■ とぎれた高速道路を結ぶことが、路線全体の利用促進に

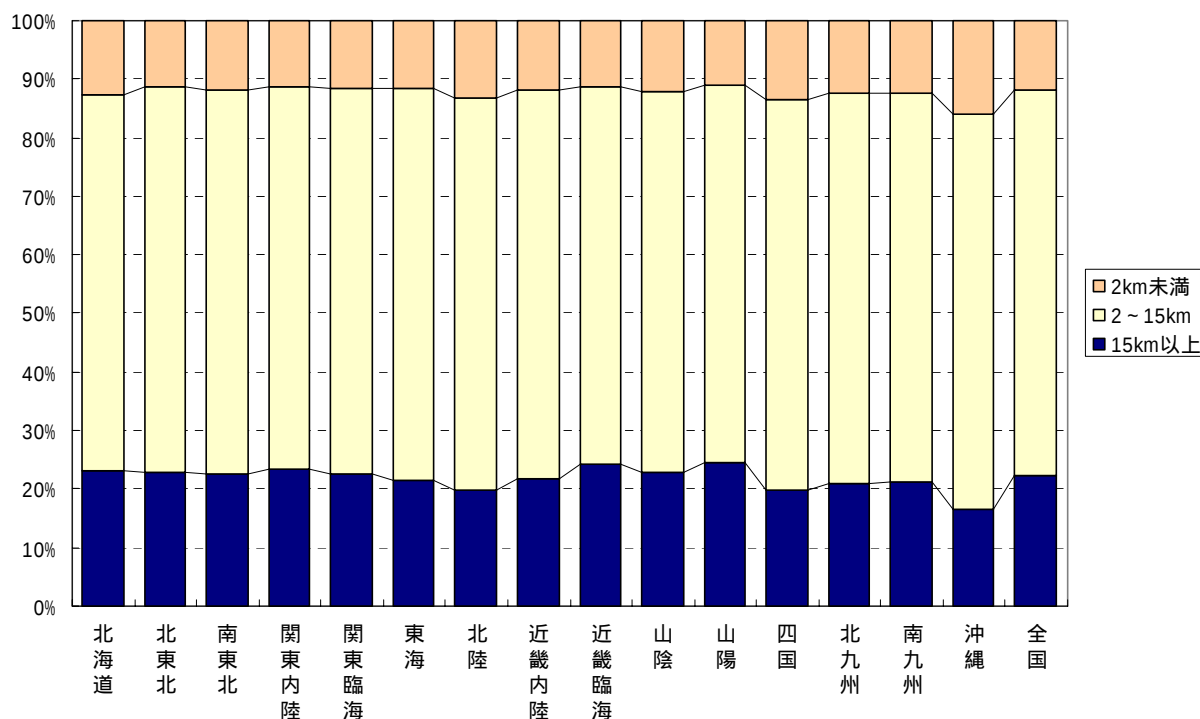
香川県(分担率1.3ポイント向上(全国1位))の高松自動車道では、高松中央IC～高松西IC間の開通により全線開通。この効果により、全線にわたり交通量が大幅に増加(平均で約30%増)。

1) 走行台キロ：区間毎の交通量と道路延長を掛け合わせた値であり、道路交通の量を表す

2) 規格の高い道路を使う割合：全道路の走行台キロに占める自動車専用道路等の走行台キロの割合

■ 全国のブロック別のトリップ特性（平日）

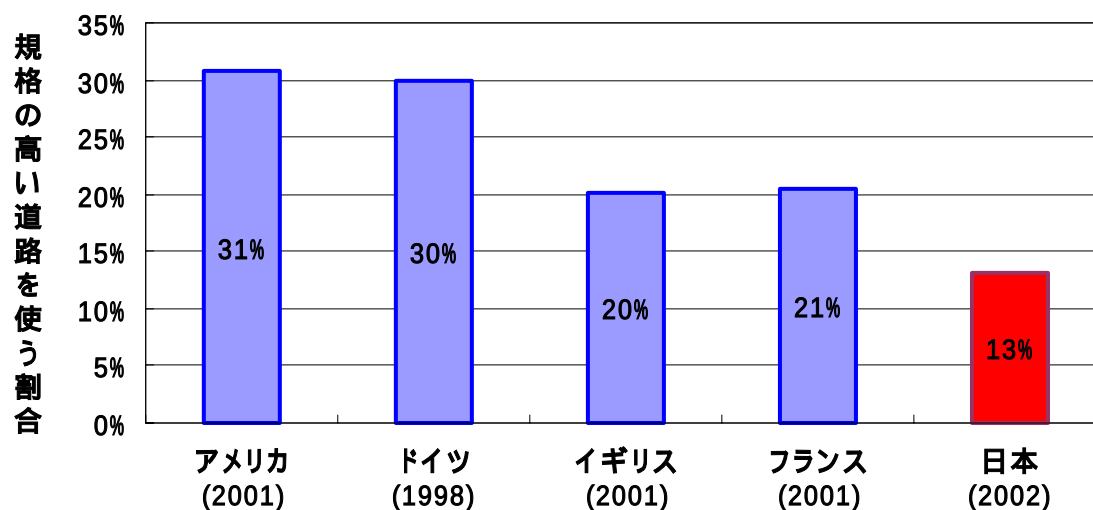
15km 以上を走行する長距離交通は、全国的に 20%～30% 存在。



【ブロック別のトリップ長（平日）】

■ 欧米諸国に比べて十分に活用されていない規格の高い道路

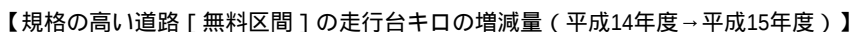
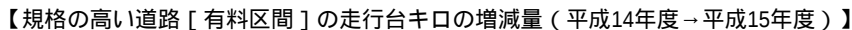
我が国の規格の高い道路を使う割合は、約 13% と欧米諸国の 20～30% に比較して著しく低い状況。



諸外国における規格の高い道路の定義

アメリカ：Interstate, Other Freeway & Expressway ドイツ：Bundesauto-bahnen
イギリス：Motorway フランス：Autoroute

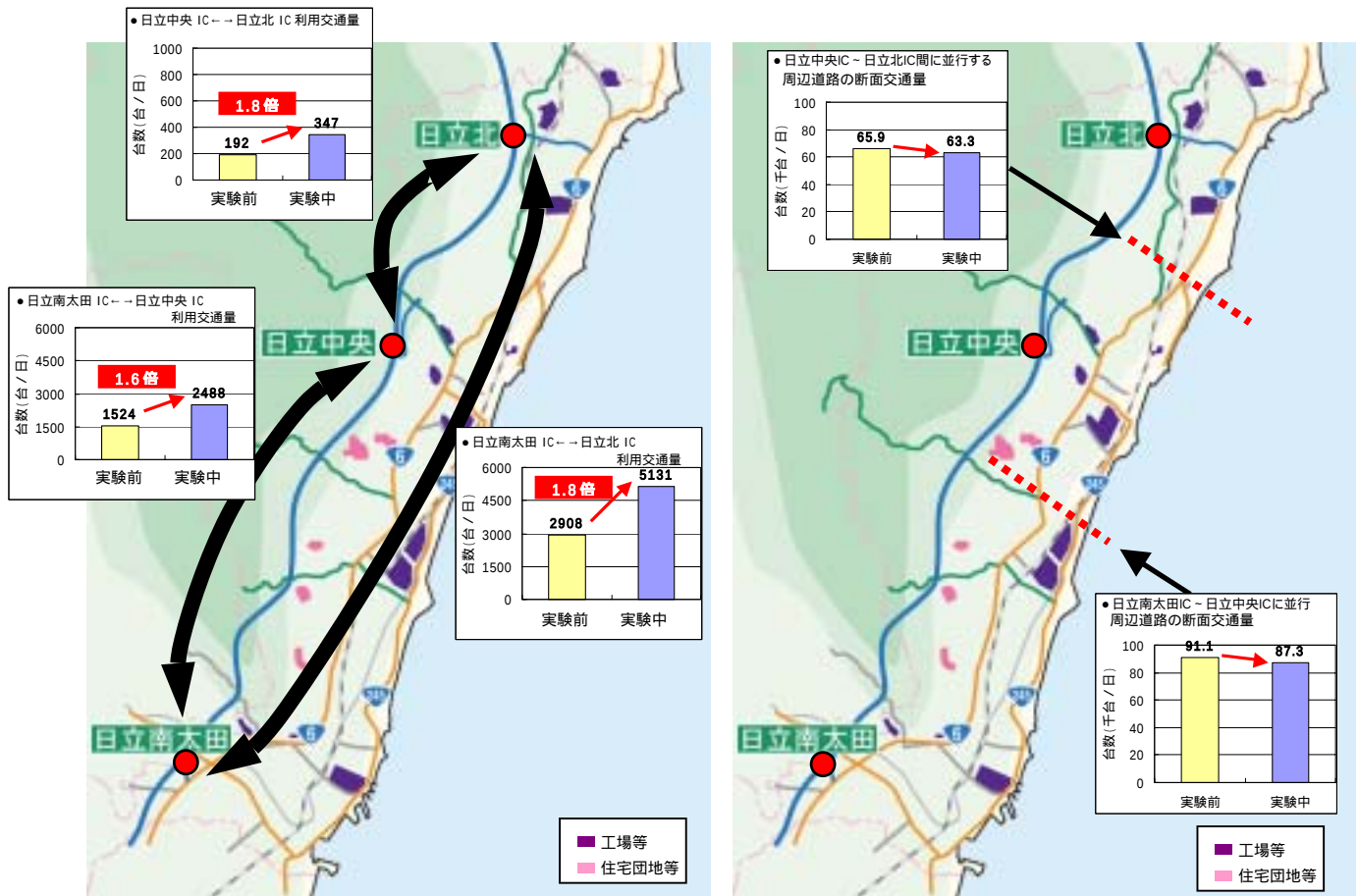
【規格の高い道路を使う割合の諸外国比較】



注)このデータは、トラフィックカウンタなどにより常時交通量を把握できる区間のデータから全体を推計したものである。

■ 料金社会実験（弾力的な料金設定）により、交通量が大幅に増加

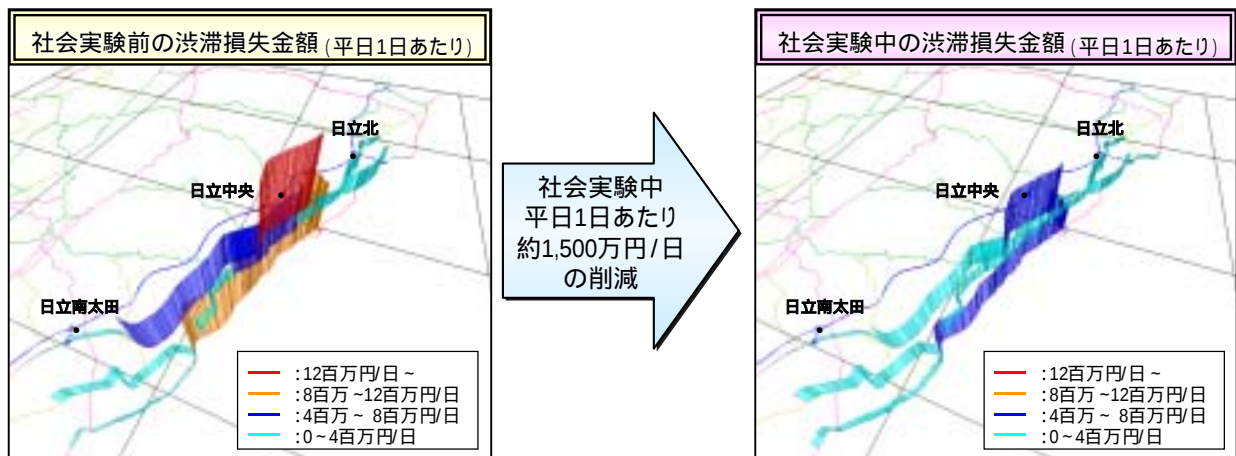
日立市内の常磐自動車道（日立北 I C ～日立南太田 I C 間）では、1 ヶ月間、料金を約半額に値下げしたところ、実験区間内の各 I C を往来する交通量が平均で約 70% 増加。一方、周辺道路の交通量は約 4 % 減少。



【実施区間内の I C 間利用交通量の変化】

【実施期間中における周辺道路の断面交通量の変化】

実験期間中における日立市内の主要な一般道路の渋滞損失額を試算すると、社会実験前と比較し約 1,500 万円 / 日削減（平日）。



3D マップでは、上に高く延びている区間ほど渋滞損失額が大きくなっています。

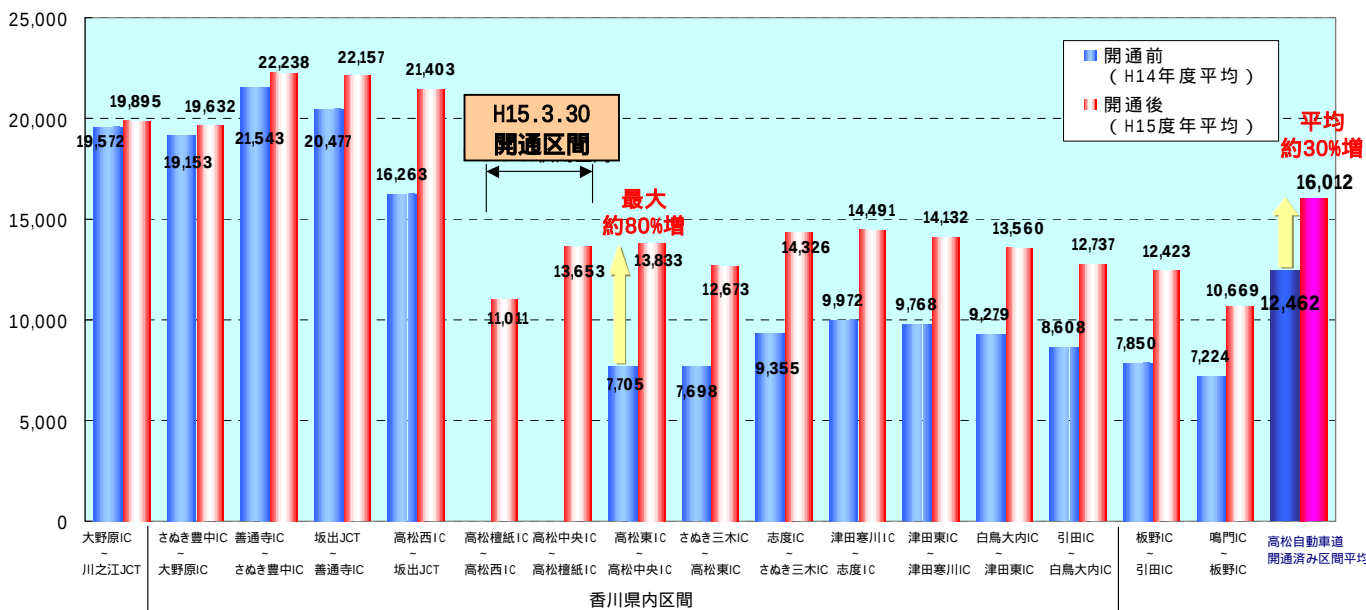
【日立市における渋滞損失額の 3D マップの変化（試算値）】

■ とぎれた高速道路を結ぶことが、路線全体の利用促進に

香川県内の四国横断自動車道（高松自動車道）では、高松中央 IC～高松西 IC 間の開通により、平成 15 年 3 月 30 日に全線開通（全線有料）。この開通により、高松自動車道の利便性が大きく向上し、平成 15 年度は、全線にわたり交通量が大幅に増加。（区間平均 30% 増（最大 80% 増））



交通量(台/日)



【高松自動車道(高松中央IC～高松西IC)開通後における交通量の変化】